向にあり、年間の救急件数の過半数が軽症者です。

救急車を次のような理由で呼ぶケースが非常に多くなっています。

①救急車で病院に行った方が優先的に診てもらえる。

②無料で便利だから。

③交通手段がない。

皆さんの大切な人が急に心臓発作を起こしたり、大事故に遭った時に右記の理由で救急車が出払っている場面を想像してみてください!!救急車はケガや病気で緊急に病院へ搬送しなければならない傷病者のためのものです。適切な利用を心がけましょう！

問い合わせ
鬼北消防署　救急係
☎45-2461

防衛大学校等学生募集

【防衛大学校学生一般(前期)】
応募資格
高卒(見込含)21歳未満の方
第1次試験日および試験地
11月8日(土)・9日(日)
宇和島市役所

【防衛医科大学校(医学科・看護学科)学生】
応募資格
高卒(見込含)21歳未満の方
第1次試験日および試験地
①看護学科
10月18日(土)　松山大学
②医学科
11月1日(土)・2日(日)
松山大学
受付締切
ともに9月30日(火)
なお、防衛大学校学生採用試験には、推薦および総合選抜コース(受付締切9月9日(火))もあります。

問い合わせ
自衛隊宇和島地域事務所
☎0895-23-5431

「家族のつどい」のご案内

宇和島保健所では、統合失調症を発病後おおむね10年以内の方の家族が集まり、情報交換や学習会を行っています。安心して話せる場所です。一人で悩まず、あなたの胸のうちを話してみませんか。ぜひご参加ください。

日　時
9月17日(水)
13時30分～15時30分
場　所
宇和島保健所
南予地方局　2階
対　象
発病後おおむね10年以内の統合失調症の方のご家族
内　容
座談会・学習会など
申込み・問い合わせ
宇和島保健所
精神保健係
☎0895-22-5211
内線283

愛媛の救急医療を守ろう

近年、休日や夜間、救急病院に軽症の患者さんが集中し、医師の負担が増えているほか、安易な救急車の呼び出しで出動回数が増加し、重症な患者さんの搬送に困るケースも増加しています。

このままでは、住民の皆様に適切な医療を提供できなくなる恐れがあり、そうならないために『愛媛の救急医療を守る143万人の県民運動(愛救143運動)』を実施しています。

これは医療機関や救急車の適切な利用を、皆さん一人一人に心がけていただく取組みですので、ご協力をお願いします。

普段からの3つの心がけ
①日頃から『かかりつけ医』を持ちましょう。
②健康診断や検診等により、病気の予防や早期発見に努めましょう。
③家庭で薬を常備しましょう。

受診にあたっての3つの心がけ
①なるべく医療機関の通常の診療時間内に受診しましょう。
②救急車で搬送されても、軽症の場合は、通常の受付順となる場合があることに留意しましょう。
③休日や夜間で比較的症状の軽い方は、休日夜間急患センター(在宅当番医)を利用しましょう。

※休日や夜間に、どの病院に行けばよいか分からない場合には、愛媛救急医療ネットを参考にしてください。
※お子さんの急な病気やケガの場合は、小児救急医療電話相談(#8000)をご利用ください。

問い合わせ
愛媛県　保健福祉部管理局
医療対策課
医療政策グループ
☎089-912-2449

税関からのお知らせ
引揚者の皆さまへ

終戦当時の引揚者の通貨・証券などの返還について

税関では、終戦当時の引揚者からお預かりした通貨や証券などを返還しておりますので、心当たりの方はお問い合わせください。

▼海外から引き揚げてこられた方が、上陸地の税関または海運局などにお預けになった通貨や証券など

▼海外の引き揚げ終結地の総領事館でお預けになった通貨や証券など

※ご本人のほか、ご家族からの問い合わせも受け付けております。

問い合わせ
松山税関支署
☎089-951-0301
松山税関支署
宇和島出張所
☎0895-22-1254

農林水産研究所
農林水産参観デー

県農林水産研究所および県果樹研究センターでは、みなさんに親しんでいただくため、試験・研究成果の発表、施設や研究ほ場の公開に加え、さまざまなイベントを開催します。ぜひお出かけください。

日　時
10月1日(水)・2日(木)
9時～16時
※2日(木)は15時まで
会　場
▼県農林水産研究所
松山市上難波
▼県果樹研究センター
松山市下伊台町
問い合わせ
県農林水産研究所
☎089-993-2020
県果樹研究センター
☎089-977-2100